

28 文化芸術振興事業に対する支援措置の強化について

(財務省、文化庁)

【提言の内容】

- (1) 地方自治体等の文化芸術振興事業に対する一層の支援を図ること。また、対象分野・対象経費など制度の拡充を図ること。
- (2) 大規模芸術祭など文化芸術を基軸とした地域づくりにつながる総合的・複合的な取組に対して、新たな支援制度の創設を行うこと。

(背景)

- 平成19年2月、国は「文化芸術の振興に関する基本的な方針」(第2次)を策定し、文化芸術で国づくりを進める「文化芸術立国」を目指し、文化芸術を通じて世界に貢献するなどの基本的視点及び重点的取組事項が決定された。同方針では、文化芸術活動への支援について、中長期的な観点に立って、水準の高い活動への重点支援を行うこと、地域の文化力を広くまちづくりに生かしていくことなどが位置づけられているところである。
- 昨年来、厳しい経済情勢が続いているが、経済の良し悪しに関わらず文化芸術は長期にわたって地域に根ざし、受け継がれていく価値のあるものである。過去においても、大きな危機の後には、時代を転換させる価値観の変化が起きているが、次に来る社会変化は量から質への転換が想定され、それ故、人々の創造性や感性を育む文化芸術が、これまで以上に重視される社会になるものと考えられる。
- 本県では、2010年を初回として、現代美術を基軸としつつ、舞台芸術も併せて展開する総合的・複合的な国際芸術祭「あいちトリエンナーレ」を定期的に開催し、愛知から文化芸術を日本・世界へ発信することにより、地域の文化芸術振興を図ることとしている。
- こうした、地域の文化芸術振興の取組を一層推進するためには、次代を担う子どもたちの創造性や感性を育むための事業を始め現在国が行っている音楽や演劇など舞台公演に重点を置いた支援制度から、美術や映像などを含めた幅広い分野を対象とする制度とするほか、対象経費の拡大など、制度の拡充を図ることが必要である。
- さらに、あいちトリエンナーレのような大規模芸術祭は、魅力と風格あふれる地域づくりに大きな役割を果たすものであることから、こうした事業に対して、国として、新たな支援制度の創設が望まれる。

(参 考)

—— あいちトリエンナーレ2010の概要 ——

- テ ー マ：都市の祝祭 Arts and Cities
- 開催時期：平成22年8月21日（土）から10月31日（日）まで（72日間）
- 事業内容：現代美術を基軸としつつ、舞台芸術も併せて展開（会場の持つ複合機能を活用）
普及・教育プログラムの展開や祝祭感の創出を目指す
- 会 場：愛知芸術文化センターを拠点とし、その周辺の都市空間
などへ展開
- 運営主体：あいちトリエンナーレ実行委員会
- 芸術監督：建畠 哲氏（国立国際美術館長）



草間彌生 Yayoi Kusama
Dots Obsession 2008
パリのラ・ヴィレットでの展示



会場：愛知芸術文化センター
及びその周辺の都市空間



子どもたちへのプログラム
思いっきり巨大アートを描こう！
あいち子ども芸術大学2008



愛知県文化振興事業団プロデュース
オペラ「ファルスタッフ」2008. 9
愛知芸術文化センター大ホール